

三浦小 六年一組

自分の今後と将来の夢

川原 大雅

ぼくは今年、中学生になります。そこでぼくは中学生以降の目標を四つ立てました。一つ目は、部活です。ぼくは七年間、剣道をしてきました。試合にも出ています。しかし、二回戦、三回戦止まりなのが現状です。そこでぼくは、練習量を増やしてしました。ですが当然、相手も実力に合わせて練習をしております。結果はさほど変わりませんでした。だから中学校での部活は、もちろん剣道部に入るつもりです。練習量だけでなく、練習の質も上げて、上位を争えるような選手を目指します。

二つ目は、勉強です。ぼくは一年生から四年生ぐらいまでは、目立って努力もせずに高得点を取れていました。四年生の春休み明け、ぼくは、いつもの様にテストを受けました。すると、点数がガタンと下がっていました。ぼくは、なぜこんなに点が下がってしまった。

たのか分からず困りました。

でもその時に、ぼくは努力をせずとも勉強

は出来ていた方だという油断に気付きました。

焦ったぼくは、少しだけ努力をしてみました。

た。すると、テストの良くなったのです。

その時、始めて努力することの大切さに気付

きました。

だから中学校では、油断せず、努力を怠ら

ないようにして、良い得点を取れるように、

がんばります。

三つ目は、人との交流です。ぼくたちの三

浦小学校は、全校児童百五十人ほどの小さな

学校です。六年生は二十三人しかいません。

その人数がそこから四クラスから五クラスに

なるのですから三浦小出身者は、四人から五

人ほどになります。だから中学校に入学した

後は、大村小、鈴田小出身の六年生と積極的

に交流をして、友達を作ります。そして充実

した中学校生活を送りたいです。

四つ目は、日々の生活です。ぼくは六年生

の一年間でくしマルシェでの発表や、運動会の応援団長など学年、学級の代表をたくさんしたという自負はあります。

しかし、代表の仕事ばかりして、日々の生活では、忘れ物が多かったり、宿題を忘れがちになったりと、反省すべき所は、多数あります。

中学生になると代表や役員などの仕事は、もっと責任が重くなると思います。日々の生活を改善し、代表の仕事は、これまで通り積極的に取り組みます。事と日々の生活の両立を目指してがんばります。

今、六年生であるぼくは、中学生での生活を考へ、四つの目標を立てましたが、その先の夢もあります。ぼくの将来の夢は、医者です。なぜなりたいた先生がきっかけです。

その先生は、一つの決まった方法を決まらずに、たようにやるのではなく、臨機応変に、ぼく

に合った対応を考えて下さいました。とても
すごいいいと思いました。こんな風に、患者さん
によりそった医者になりたいと思いました。
医者になるのは今、ぼくが思っているより
大変だと思います。しかし、やりがいもある
だろうし、人との関わりが大切な、とても素
晴らしい職業だと感じています。

夢の実現のためにもまずは中学校生活で
す。中学校の三年間をしっかりと充実させ、夢
を叶えられるよう、がんばります。